

1. 概要

スプレー機能付きエアアブレーションシステムは、安全で信頼性の高い装置です。その

機能的特徴は以下の通りです：

極めて微量の研磨剤流量を実現

水ミストを使用して、研磨粉の飛散を抑制します。

圧縮空気の力を利用して微細な研磨粒子を高速で噴射し、頑固な付着物を素早く除去します

2. 安全

- 1) 使用説明書をご参照ください；
- 2) 本機器は人の口腔内では使用できません；
- 3) 研磨剤に他の物質を混ぜてはいけません。混ぜると詰まりの原因となります；
- 4) 分解や改造は一切禁止されています。
- 5) 修理は専門業者に依頼してください；
- 6) 明らかな経年劣化や異常が見られた場合は、直ちに本機の使用を中止してください；
- 7) 定期的に点検・メンテナンスを行ってください。そうでない場合は使用しないでください；；
- 8) 純正のコネクタのみを使用してください。それ以外を使用すると、損傷の原因となります。

3. 使用目的

- 1) 本製品は、歯科治療において資格を有する歯科医師のみが使用できます；
- 2) セラミック歯の接着および総合的な修復、セラミックベニアの接着のための形成；
- 3) メリーランド式固定ブリッジの接着準備；
- 4) ブラケットの接着準備；
- 5) レジン接着のための準備；
- 6) セラミック歯の修復および交換。

4. 禁忌

本器具はヒトの口腔内では使用できません；

5. 研磨剤の選定

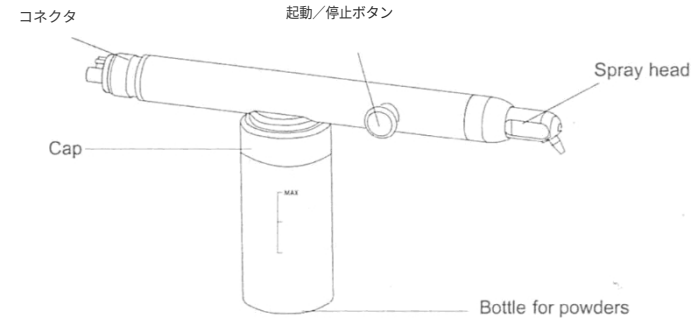
粉末は乾燥していて、粒子がほぐれている状態である必要があります。湿った粉末は、120℃で30分間焼成してください。

- 処理面に残った頑固な付着物を素早く除去するために使用します：粒子径90ミクロンの白色アルミナ粒子；
- 金属または非金属表面の接着下地処理に使用：粒子径50ミクロンの白色アルミナ粒子、
- 表面研磨用：粒径27ミクロンの白色アルミナ粒子。

6. 製品一覧

Oリング（Φ9xΦ7xΦ1）×1	粉末用ボトル×1	チップ×1
Oリング（Φ8.7xΦ7xΦ0.85）×2	フィルターカートリッジ×2	

7. 装置の概要

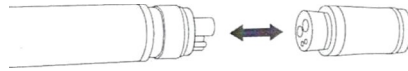


8. 技術仕様

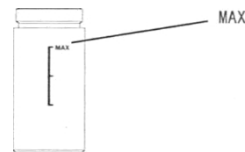
推奨作動圧力	0.4MPa	スプレーノズル径	1.0mm
給水圧力	0.2MPa	粉末スプレー	≤9g/min
作動圧力	0.3～0.6MPa	水噴霧	> 20ml/min
スプレー有効距離	2～10mm		

9. 取扱説明および操作

- 1) コネクタを歯科用チェアのパイプに接続してください。



- 2) 粉末の量は「MAX」を超えてはいけません。1つの目盛りは粉末約6mlに相当します。



- 3) 空気圧と水圧を所定の範囲に調整し、フットペダルを踏み込み、starUstopボタンを長押しして作業を開始します。
- 4) フットペダルとスタート/ストップボタンを離すと、作業が停止します；
- 5) 使用しないときは、給水を止めてください。

10. メンテナンス

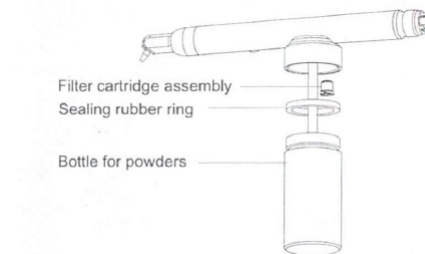
11. 空気源を接続した後、詰まりを防ぐために、機器を数回作動させて残留粉末を取り除いてください；
ボトルが空であることを確認してください。
12. 歯科用チェアの配管からコネクタを取り外し、スリーウェイシンジジを使用して、コネクタのパイプに空気を吹き込み、残った水を排出してください。
13. 使用しないときは、器具と粉末を乾燥した場所に保管してください。

11. 洗浄、消毒、滅菌

- 1) ボトルのキャップを緩め、3ウェイシンジジを使用して器具内の残留粉末と水を排出してください。
- 2) 湿らせた布で表面を拭いてください。
- 3) スプレーヘッドを取り外して水で洗浄し、3ウェイシンジジを使用して残った粉末を取り除いた後、ヘッドを吹き乾かしてください。
- 4) 3ウェイシンジジを使用して、キャップとコネクタに残っている粉末を取り除きます；

- 5) 消毒方法：アルコールに浸した新しいウェットティッシュで器具、特にコネクタや隙間を拭き、最後に新しい布で器具を乾かしてください。

必要に応じて、高温滅菌による消毒を行うことも可能です。滅菌方法：まず、ボトル、密封用ゴムリング、およびフィルターカートリッジアセンブリ（これらは滅菌できないため）を取り外し、下図のように分解します。その後、本体部分に対して高温滅菌を行います。



12. トラブルシューティング

問題	対処方法
スプレーヘッドが詰まっている	スプレーノズルを外し、水で洗い流してください
メインロッドの穴が詰まっている	まずスプレーヘッドを外し、先端部を使って詰まりを取り除いてください。その後、フットペダルを踏み、スタート / ストップボタンを長押しして詰まりを排出してください。
空気または水が漏れる スプレーヘッドの穴が詰まっている	スプレーヘッドを外し、接続部のシール状態を確認してください。Oリングが破損している場合は、速やかに交換してください。 チップを使用して詰まりを取り除いてください

13. 使用環境、保管および輸送条件

使用環境

作動温度	5 ～ 40℃
作動湿度	20% ～ 80%
大気圧	86 ～ 106kPa

保管および輸送条件

保管温度	-10 ～ 55℃
保管湿度	≤93%
大気圧	50 ～ 106kPa

連絡先
kashika.jp@gmail.com
URL:<https://www.kashika.jp/>